



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 キッセイ薬品工業株式会社

コード番号 4547 URL <http://www.kissei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 神澤 陸雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 佐藤 公衛

TEL 0263-25-9081

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日

平成24年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	29,321	△7.8	3,630	1.9	4,047	2.1	1,817	△26.5
24年3月期第2四半期	31,798	2.7	3,564	28.1	3,964	34.3	2,471	70.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 2,373百万円 (24.5%) 24年3月期第2四半期 1,906百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	35.30	—
24年3月期第2四半期	46.67	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	145,866	124,832	85.4	2,421.35
24年3月期	144,385	123,385	85.3	2,393.17

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 124,632百万円 24年3月期 123,183百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
25年3月期	—	19.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,500	△3.3	6,900	△7.6	7,700	△7.5	4,200	△11.9	81.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	56,911,185 株	24年3月期	56,911,185 株
25年3月期2Q	5,438,881 株	24年3月期	5,438,203 株
25年3月期2Q	51,472,709 株	24年3月期2Q	52,960,976 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件その他に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(6) セグメント情報等 .....	11
(7) 重要な後発事象 .....	12
4. 補足情報 .....	13
(1) 販売実績 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における医薬品業界は、後発品使用促進策等の医療費抑制策の進展に加え、本年4月に実施されました薬価改定におきまして、新薬創出・適応外薬解消等促進加算の試行的導入が継続される一方で、長期収載医薬品の追加引下げが実施されるなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。また、情報サービス業界、物品販売業界、建設業界におきましては、世界的な景気減速や円高の進行などによる景気悪化への懸念、企業におけるIT投資及び設備投資への慎重な姿勢や個人消費の低迷など、内需の停滞を背景に厳しい競争環境下にあります。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	増減率 (%)
売上高 (百万円)	31,798	29,321	△7.8
営業利益 (百万円)	3,564	3,630	1.9
経常利益 (百万円)	3,964	4,047	2.1
四半期純利益 (百万円)	2,471	1,817	△26.5

医薬品事業の売上高は、264億5千3百万円（前年同期比4.7%減）となりました。腎性貧血治療薬「エポエチンアルファBS注JCR」、糖尿病治療薬「グルベス®配合錠」をはじめとする新製品の育成に注力するとともに、既存の製商品につきましても積極的な医薬情報活動を推進いたしました。本年4月に実施されました薬価基準引下げの影響や、ファイザー株式会社が製造し当社が販売しておりましたパーキンソン病治療薬「カバサル®錠」の本年4月からの同社への販売移管などにより減収となりました。また、欧州における前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシン（一般名、日本製品名「ユリーフ。」）の技術導出先でありますレコルダッチ社（イタリア）では、平成22年6月にドイツで発売して以降、当連結累計期間におきましても引き続き欧州各国において発売ならびに発売に向けた準備を進めておりますことなどから、輸出売上高は順調に増加しております。

その他の事業の売上高は、28億6千7百万円（前年同期比29.2%減）となり、情報サービス業、物品販売業、建設請負業ともに減収となりました。

利益面では、減収による減益要因がありましたものの、医薬品事業、その他の事業の両事業における売上原価率の低下、販売費を主とした販売費及び一般管理費の減少などにより、営業利益及び経常利益は増益となりました。また、四半期純利益につきましては、投資有価証券評価損の計上などにより減益となりました。

研究開発の状況につきましては、引き続き各テーマの研究開発を推進し、開発段階のステージアップを図っております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は1,458億6千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億8千万円増加しました。流動資産は受取手形及び売掛金などが減少しましたが、現金及び預金、たな卸資産が増加したことなどにより、22億1千6百万円増加し890億4百万円となりました。固定資産は繰延税金資産の減少などにより、7億3千5百万円減少し568億6千1百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は210億3千3百万円となり、前連結会計期間末に比べ3千4百万円増加しました。流動負債は支払手形及び買掛金が増加しましたが、未払法人税等が減少したことなどにより、2千8百万円減少し146億3千3百万円となりました。固定負債は退職給付引当金の増加などにより6千3百万円増加し、64億円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は1,248億3千2百万円となり、前連結会計期間末に比べ14億4千6百万円増加しました。主な要因は利益剰余金、その他有価証券評価差額金が増加したことによりです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の85.3%から85.4%となりました。

## 2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より30億3千5百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末では488億9百万円（前連結会計年度末比6.6%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、たな卸資産の増加や法人税等の支払額の増加などの資金の減少要因がありましたが、売上債権の減少並びに仕入債務の増加などにより前年同四半期に比べ11億2千万円増の48億9千2百万円となりました。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、投資有価証券の取得が増加したほか、貸付金の回収による収入が減少した一方、有形固定資産並びに長期前払費用の取得による支出が減少したことなどにより前年同四半期に比べ3億1千6百万円支出減の8億5千4百万円の支出となりました。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ46億6千4百万円支出減の10億1百万円の支出となりました。主な要因は前年同四半期に取締役会決議による自己株式の取得があったことによります。

## （3）連結業績予想に関する定性的情報

医薬品業界におきましては、後発品使用促進策等の医療費抑制策の影響を受け、引き続き厳しい経営環境下にあります。また、その他の事業におきましても、内需の停滞を背景に依然として厳しい業界環境が継続するものと予想されます。このような情勢の中で当グループは、グループ各社のシナジー創出によりグループ経営基盤を強化するとともに、これまでの研究開発などへの投資の成果を結実させ、収益性の改善に取り組んでまいります。現時点での平成25年3月期の連結業績見通しにつきましては、以下のとおりです。

### 連結業績見通し

	24年3月期実績	25年3月期見通し	対前期増減額	増減率（%）
売上高（百万円）	64,618	62,500	△2,118	△3.3
営業利益（百万円）	7,465	6,900	△565	△7.6
経常利益（百万円）	8,326	7,700	△626	△7.5
当期純利益（百万円）	4,769	4,200	△569	△11.9

#### ・売上高

当初見通しより12億円増額の625億円（前年度比3.3%減収）に修正いたします。

第2四半期連結累計期間の業績ならびに現況を加味した見直しを行いました結果、医薬品事業におきまして10億円、その他の事業におきまして2億円それぞれ増額の計画といたしました。医薬品事業では主として輸出について、その他の事業では主として情報サービス業について売上を見直したことによります。

#### ・利益

第2四半期連結累計期間におきましては、医薬品事業における売上高が当初計画を上回りましたことに加え、売上原価率が低下し、販売費及び一般管理費が当初計画を下回りましたことなどにより、営業利益、経常利益が当初見通しを上回りましたが、通期での売上原価率、年度後半の販売費及び一般管理費につきましてはほぼ当初計画通りです。

年度の売上高を増額修正いたしますとともに、販売費及び一般管理費を減額修正いたしますことなどから、通期の利益見通しにつきましては、営業利益は当初見通しより12億円増額の69億円（前年度比7.6%減益）、経常利益は当初見通しより13億円増額の77億円（前年度比7.5%減益）の見通しであります。また、当期純利益につきましては、第2四半期連結累計期間におきまして特別損失を計上いたしましたことから、当初見通しと同額の42億円の見通しであります。なお、年度後半の営業外損益ならびに特別損益におきましては、特別なものは見込んでおりません。

(参考) 個別業績見通し

	24年3月期実績	25年3月期見通し	対前期増減額	増減率(%)
売上高(百万円)	55,502	54,100	△1,402	△2.5
営業利益(百万円)	7,049	6,700	△349	△5.0
経常利益(百万円)	7,940	7,500	△440	△5.5
当期純利益(百万円)	4,593	4,100	△493	△10.7

・1株当たり当期純利益予想は、79円65銭であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年 9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,234	21,768
受取手形及び売掛金	26,059	23,247
有価証券	26,600	27,293
商品及び製品	5,115	4,966
仕掛品	558	1,254
原材料及び貯蔵品	4,289	5,927
繰延税金資産	2,005	1,898
その他	2,927	2,648
貸倒引当金	△2	△0
流動資産合計	86,788	89,004
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,649	36,751
減価償却累計額	△25,472	△25,863
建物及び構築物 (純額)	11,177	10,888
土地	13,191	13,190
建設仮勘定	40	127
その他	14,266	14,544
減価償却累計額	△11,872	△12,125
その他 (純額)	2,394	2,418
有形固定資産合計	26,804	26,625
無形固定資産	953	851
投資その他の資産		
投資有価証券	26,394	26,481
繰延税金資産	1,465	930
その他	2,033	2,021
貸倒引当金	△53	△48
投資その他の資産合計	29,838	29,385
固定資産合計	57,596	56,861
資産合計	144,385	145,866

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年 9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,499	4,911
短期借入金	2,101	2,001
未払法人税等	1,722	1,265
賞与引当金	2,015	2,149
その他の引当金	712	559
その他	3,609	3,745
流動負債合計	14,662	14,633
固定負債		
長期借入金	1,547	1,576
退職給付引当金	3,990	4,100
役員退職慰労引当金	130	113
資産除去債務	99	100
その他	569	509
固定負債合計	6,337	6,400
負債合計	20,999	21,033
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,356	24,356
資本剰余金	24,254	24,254
利益剰余金	80,716	81,607
自己株式	△8,680	△8,681
株主資本合計	120,647	121,537
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,536	3,095
その他の包括利益累計額合計	2,536	3,095
少数株主持分	202	199
純資産合計	123,385	124,832
負債純資産合計	144,385	145,866



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	31,798	29,321
売上原価	11,216	9,182
売上総利益	20,581	20,138
返品調整引当金戻入額	68	17
返品調整引当金繰入額	16	14
差引売上総利益	20,633	20,141
販売費及び一般管理費	17,069	16,511
営業利益	3,564	3,630
営業外収益		
受取利息	33	30
受取配当金	341	336
その他	82	114
営業外収益合計	457	481
営業外費用		
支払利息	21	19
有価証券評価損	—	32
その他	35	12
営業外費用合計	56	64
経常利益	3,964	4,047
特別利益		
固定資産売却益	77	—
特別利益合計	77	—
特別損失		
投資有価証券評価損	0	792
減損損失	162	0
その他	40	9
特別損失合計	202	803
税金等調整前四半期純利益	3,838	3,243
法人税、住民税及び事業税	1,029	1,103
法人税等調整額	329	325
法人税等合計	1,359	1,428
少数株主損益調整前四半期純利益	2,479	1,814
少数株主利益又は少数株主損失(△)	7	△2
四半期純利益	2,471	1,817

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,479	1,814
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△572	559
その他の包括利益合計	△572	559
四半期包括利益	1,906	2,373
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,898	2,376
少数株主に係る四半期包括利益	7	△2

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,838	3,243
減価償却費	1,248	1,177
引当金の増減額 (△は減少)	119	66
減損損失	162	0
受取利息及び受取配当金	△374	△367
支払利息	21	19
為替差損益 (△は益)	2	1
有価証券評価損益 (△は益)	△13	32
有形固定資産売却損益 (△は益)	△77	—
固定資産処分損益 (△は益)	40	9
投資有価証券評価損益 (△は益)	0	792
売上債権の増減額 (△は増加)	163	2,811
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△466	△2,184
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	96	242
仕入債務の増減額 (△は減少)	△477	412
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△10	26
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△7	△56
その他	0	△5
小計	4,264	6,221
利息及び配当金の受取額	350	343
利息の支払額	△21	△19
法人税等の支払額	△821	△1,653
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,772	4,892
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△53	△43
定期預金の払戻による収入	54	44
特定金銭信託の払戻による収入	35	40
有形固定資産の取得による支出	△823	△535
有形固定資産の売却による収入	111	—
国庫補助金等受入による収入	159	—
無形固定資産の取得による支出	△61	△120
投資有価証券の取得による支出	△0	△202
投資有価証券の売却及び償還による収入	41	17
貸付けによる支出	△124	△67
貸付金の回収による収入	256	76
長期前払費用の取得による支出	△767	△52
その他	1	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,170	△854

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	270	—
短期借入金の返済による支出	△593	—
長期借入れによる収入	—	100
長期借入金の返済による支出	△70	△170
リース債務の返済による支出	△9	△3
自己株式の取得による支出	△4,339	△0
配当金の支払額	△922	△926
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,666	△1,001
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,067	3,035
現金及び現金同等物の期首残高	50,153	45,773
現金及び現金同等物の四半期末残高	47,086	48,809

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		その他（注） （百万円）	合計 （百万円）
	医薬品 （百万円）	計 （百万円）		
売上高				
外部顧客への売上高	27,750	27,750	4,048	31,798
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	2,208	2,208
計	27,750	27,750	6,257	34,007
セグメント利益	3,446	3,446	87	3,534

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	3,446
「その他」の区分の利益	87
セグメント間取引消去	29
固定資産の調整額	3
その他の調整額	△3
四半期連結損益計算書の営業利益	3,564

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		その他（注） （百万円）	合計 （百万円）
	医薬品 （百万円）	計 （百万円）		
売上高				
外部顧客への売上高	26,453	26,453	2,867	29,321
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	2,123	2,123
計	26,453	26,453	4,991	31,444
セグメント利益	3,499	3,499	106	3,605

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	3,499
「その他」の区分の利益	106
セグメント間取引消去	27
固定資産の調整額	1
その他の調整額	△5
四半期連結損益計算書の営業利益	3,630

（7）重要な後発事象

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

##### (1) 販売実績

当連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品事業						
その他代謝用薬	3,961	12.4	4,749	16.2	788	19.9
神経系用薬	1,260	4.0	131	0.4	△1,128	△89.6
感覚器官用薬	1,154	3.6	1,072	3.7	△82	△7.1
循環器官用薬	4,441	14.0	3,754	12.8	△686	△15.5
消化器官用薬	1,450	4.6	1,498	5.1	47	3.3
ホルモン・泌尿生殖・ 血液体液用薬	8,720	27.4	8,755	29.9	34	0.4
アレルギー用薬	980	3.1	909	3.1	△71	△7.2
その他	5,780	18.2	5,581	19.0	△199	△3.4
報告セグメント計	27,750	87.3	26,453	90.2	△1,296	△4.7
その他の事業	4,048	12.7	2,867	9.8	△1,180	△29.2
合計	31,798	100.0	29,321	100.0	△2,477	△7.8
(うち輸出高)	(1,548)	(4.9)	(1,940)	(6.6)	(392)	(25.4)

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。